

# 「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報をマリモコミュニティからお届けします。



## ホコリつばさを すっきり取り除く フローリングのお掃除

フローリングの床は、ホコリが目立ちやすいもの。とくに春は風が強いので、ホコリが舞いやすくてまわりがちです。こまめに掃除機をかけていても、すぐにうつつらと表面にホコリがたまったり、小さな綿ポコリが出てきたり。ちよつとしたコツを押さえて、お掃除を効率アップしましょう。

### ホコリの

#### 「たまり場」に注意

ホコリは空気の流れて移動するため、床と壁の境目や部屋の隅、家具の下などにたまっていきます。また、静電気でホコリが集まりやすい電化製品の周りも要注意な場所。こうしたホコリの「たまり場」は、とくに丁寧にお掃除しましょう。

掃除機の前に拭き掃除  
ホコリは小さくて軽いため、掃除機をかける際の排気です。そのため、どんなに時間をかけても、掃除機で取り除ける量には限界があります。お掃除の効率を上げるためには、掃除機がけでホコリが舞い上がる前に拭き掃除をするのがおすすめです。まずは、かたく絞った雑巾やウェットタイプのお掃

巾やウェットタイプのお掃

スリッパの裏、大丈夫？  
お掃除の前後には、スリッパや室内履きの底もチェック。汚れたまま家の中を歩き回ると、ホコリを運んでしまいます。素材に合わせ、こまめに水拭きや洗濯などのお手入れを！

## カンタン拭き掃除で 曇りがちな

### 窓ガラスをピカピカに！

黄砂や花粉が多くなる季節は、窓も何となく曇りがち。気になったときにサッとできる、簡単なお掃除法を知っておくと便利です。

外側は、まずホコリを除去  
窓ガラスの外側の汚れは、おもに土ポコリや花粉によるもの。最初にホコリを落としておくだけで、拭き掃除が楽になります。ホコリ取りにおすすめるのは、使い古しのハケやハタキ、ホコリとり用のハンディモップなど。窓が乾いている状態でホコリを払い、その後、かたく絞った雑巾で水拭きします。最後にから拭きをする。拭き跡も残らずピカピカに仕上がります。雑巾のかわりに、丸めた新聞紙を使うのをおすすめです。

内側も水拭き↓から拭きで  
窓ガラスの内側には、皮脂や油汚れなどがついていることもありすが、軽い汚れなら、水拭き↓から拭きですっきり落とすことができます。洗剤類は、気にならぬ汚れやベタつきがあるときだけ使えばよいでしょう。

## バルコニーの ホコリも 見逃さないで！

洗濯ものを干したり植物を置いたりするバルコニーは、髪の毛や土ポコリなどがたまっていくもの。ホコリつばさがひと段落したこの時期がお掃除のチャンスです！

まずは掃き掃除から！  
排水溝にごみが流れ込むのを防ぐため、まずはほうきで大きなごみや土のかたまりなどを取り除きます。その後、水をまいてブラシでこすりましょう（階下への漏水につながる場合もあるのでご注意ください）。

水を流せないときは  
バルコニーに水をまけないときは、「水掃き」を。ほうきやブラシを水でぬらし、こびりついた汚れをこすり取るように掃きます。

